

多くの人に支持されるウェア

4組 A 班

要旨

私達は、多くの人に支持される冬用のウェアについて研究した。一般的なスポーツウェアは、行うスポーツや性別によって選べるウェアの幅が限られていると感じた。そこで、スポーツや年齢、性別に関係なく着れるウェアを考えることで、より多くの人に買ってもらえるようにしようと思った。長袖長ズボンは、どのシーズンでも着ることができるので、今回は長袖と長ズボンのウェアのデザイン案を考えることにした。

1.はじめに

この研究を行おうと思った理由は、福井県は日本の中でも特に少子高齢化が進行しており、子供用や学生用の運動着の需要が減っているという話を聞いたからだ。確かに子供の人数は減少しているが、内閣府の「生涯学習に関する世論調査」(平成 24)によると「行ってみたい生涯学習の内容」のトップに健康・スポーツが選ばれていて、健康を維持するために日頃から運動をする人が増加していることがわかる。また、笹川スポーツ財団「スポーツライフ・データ 2012」によると散歩、ウォーキング、体操、筋カトレニングなどは、20~40代で人気があり、60代 70代でも種目別の運動の実施率の上位種目となっていることがわかる。最近では、パラスポーツも普及していて障がいを持っている人も気軽にスポーツを楽しめる環境が整ってきた。このようなことから、体操服制作の技術を生かして年齢や障がいの有無に関わらず、運動しやすいスポーツウェアを作ると良いと思った。そのようなスポーツウェアのデザインを考案することで、SDGsの「すべての人に健康と福祉を」と「働きがいも経済成長も」と「ジェンダー平等を実現しよう」を達成することができる。

2.研究方法

年齢や性別を問わず、福井県内の店舗や施設を対象にスポーツウェアを買うときに、デザインで重視すること、値段、求める機能性の3つのことについて調査した。いろいろな年齢の方の意見を取り入れるために、老人ホーム、保育園、スポーツジム、飲食店、小売業者で実施した。このアンケート結果をもとに、性別や年齢関係なく着ることができ、消費者が求めている機能性や値段に合ったスポーツウェアのデザインを考える。

3.研究結果

値段は 5000 円前後、デザインは流行性、機能性は接触冷感を求めていることが分かった。この結果から、最近流行しているファッションや、安価で接触冷感のある素材をインターネットで調べて、2つのデザイン案を考えた。

一つ目は、主に、武生高校の体操服を元にしてデザインを考えた。小さい子や障害がある人も着脱しやすいようにする工夫として、ウエストをゴムと紐にして脚を通しやすくしたり、首元を-halfジップにして着やすく、流行性に富んだデザインにした。武生高校の体操服はポリエステル 58% ポリエステルとポリエチレンの複合繊維 42% で作られている。肌が弱い人が擦れても大丈夫なように武生高校の体操服の複合繊維を綿に変えた生地ウェアにした。また、腕まくりをしてもすぐに袖が落ちてこないように袖の先をすぼめ、汗をかきやすい場所は体操服のように通気性を重視した生地にした。

二つ目は、ファッション性のあるデザインを考えた。今流行していて動きやすいカーゴパンツを取り入れ、それに合うように丈が短めのトップスのデザインにした。普段ショート丈のトップスを着ることに抵抗がある人も着れるように、カーゴパンツをハイウエストにした。このデザインの利点としては、流行性を取り入れつつ動き易くて、運動するときでもファッションを楽しめるということだ。カーゴパンツは、ツヤ感の出るポリエステルや接触冷感のあるレーヨンを含んだ素材を使い、トップスは、体操服と同じ素材のポリエステルとポリエチレンの複合繊維を使ったウェアを考えた。

4. 考察

2500円～3500円くらいで製作すれば、5000円以内で販売して利益を得ることができる。スポーツウェアが流行性に富んでいて、ファッション性のあるものであれば、スポーツウェアを普段着としても着ることができる。スポーツ以外の場面でも使えることを示すために、ギャレックスの SNS に普段着として着ている写真を載せると、より多くの人に知ってもらえると考えた。

5. 今後の課題

アンケートをもっと詳しくとるとさらに良くなったと思った。また、実際に私達が考えたデザインを、製品化し着心地や動きやすさを体感する。実際に着用してみることで、イメージと異なる部分が出てくると考えられる。そこで気がついた改善点を考慮して新たなデザインを考案することで、より良いウェアにしていけると考えた。

6. 参考文献

内閣府 「生涯学習に関する世論調査」(平成 24)

笹川スポーツ財団 「スポーツライフ・データ 2012」

日本化学繊維協会

sustainable な服を作ろう

4-B 班

(要旨)

少子高齢化に伴う子供の人口の減少による若年層からの需要の低下をうけて、新しい分野での需要獲得を目指すことに重点を置いて、人口の多い20-50代の需要を獲得するために

動きやすく、使いやすい夏の作業着について研究しました。

作業着に適した機能性や色、柄を調べるために20~50代を対象にアンケートを取りました。そのアンケート結果を

踏まえた作業着をデザインしました。

1 はじめに

企業説明会の時に、企業側が出した課題として、

SDG への取り組みの拡大、少子高齢化に伴うギャレックス様のメインとも言える学校体操服の需要量の低下を受けて、新しい層の需要の獲得に貢献しようと思い、このテーマを設定しました。

2 研究方法

高校三年生にアンケートを取り、そのアンケート結果からの傾向をまとめ、自分たちの意見を交えながら洋服をデザインした。

3 研究結果

ギャレックスのメインである、体操服製造の技術を活かし、動きやすく、通気性の良い高品質な作業着兼普段着をデザインすることができた。また、様々な世代からのニーズを拡大するために商品はもちろんのこと、商品につけるロゴもギャレックスさんのイメージを取り入れながらも、人々に親しみやすいものをデザインしました。

4 考察

アンケートや色々な人からの意見を聞いたところ、ジャージや体操服は、以前は機能性が重要視されていたが、近年では機能性だけでなく、ある程度の外出が可能なデザイン性も求められていることがわかった。

5 今後の課題

アンケートの対象を拡大して、もっと多くの人の意見を取り入れるべきだった。

～じいじい ばあばあ easy fever ～

4-C 班

要旨

ギャレックスの知名度の向上の研究を行った。そこで、高齢者に着目した。若者の間で様々なファッションスタイルが生まれているため、その若者のファッションと高齢者のコラボレーションを考えた。ギャレックスの得意としている体操服作りの技術を使い、若者の流行を取り入れたジャージを作成し、高齢者に着せる。その服装をした高齢者のいきいきした動画や、写真を SNS にアップする。普段高齢者が着用しないような格好をさせることで驚きや意外性をもたせ、話題を呼ぶ。そうすることによって、バズり、ギャレックスに注目が集まる。

1 はじめに

ギャレックスの知名度を上げるにはどうしたら良いか考えていたとき、私達は少子高齢化による体操服の需要の減少に注目した。少子化で子供向けの商品の需要が減少している一方で、高齢化で高齢者向けの商品の需要が高まっているのではないかと、という推測をした。そこで、高齢者向けの商品を考えることにした。しかし、単に高齢者向けの衣服を作るのではなく、若者のトレンドを取り入れた新しい体操服を SNS で広めることで、より一層ギャレックスの注目度が高まると考え、若者と高齢者の融合をテーマに研究を進めた。

2 研究方法

まず、若者のトレンドであり、高齢者の方が着ておしゃれになるようなファッションスタイルを考える。ここで、武生高校生に若く見える色などのアンケートを実施し、その意見も取り入れつつ考えた。

次に、若者と高齢者に考えた服を着てもらって、運動している PV や踊ってみた動画を撮影し、SNS にアップする。そうすることで、若者と高齢者の融合を強調するとともに、ギャレックスのイメージ作りにもなる。さらに、インフルエンサーに登場してもらうことで注目度や影響力が増す。

3 研究結果

アンケート結果よりベージュやカーキのような落ち着いた色が老けて見えるということが得られた。逆に黄色や青などの濃いめな色は若く見えるということがわかった。若く見える色はわかったがコストの面やデザインの作成の問題など、より実際に自分たちが考えた服を作って着てもらい PV を撮影することはできなかった。コストを単に抑えるのは材料の質を悪くすればいいが質を維持しながらコストを抑えられなかった。

4 考察

青や黄色などの濃いめの色が若く見えるのは濃いめの色がエネルギー感があり若々しく見えるのではないかと思った。逆にベージュやカーキのようなのは落ち着いた色で上品に見えるので若くは見えないのだと思った。

5 今後の課題

今後の課題としては、まず具体的なジャージ案の作成が挙げられる。いかにコストを抑え、新しくインパクトのあるデザインを考えられるかで世間の注目度も変わってくるように思う。よってどれだけ妥協せずに服を作成できるかが今後の課題であり、その後続くPV作成や注目を集める鍵になると考えられる。

高齢者に向けた体操服を作ろう

5組A班

○Abstract

まず、普通の学生の体操服と介護を受けている老人が必要としている体操服の違いについて仮説を立て、その違いに関する質問を考えて老人ホームの職員の方に電話やFAXを使って聞いた。そして結果を参考にデザイン案を作成した。

○テーマを設定した理由

一番はじめの企業紹介のときに、ギャレックス様の課題として少子高齢化の影響により学生の数が年々減少しており、それに伴い体操服の需要が減りつつあるとおっしゃっていた。私達に少子高齢化を止めることはできないため、ここで少子高齢化をマイナスに捉えずに高齢者に目を向け、高齢者の方への体操服を作れば良いと考えた。普通に高齢者の体操服を作ったとしても買う人はほとんどいない。そこで、老人ホームに学校と同じ形態で買ってもらうことにより安定した収入を得られると考えた。そして、高齢者のなかでもどうして老人ホームにしたのかというと、団体にむけて売の方が収入が多いというのもあるが、ギャレックス様の認知度もより上がると考えたからだ。

○研究方法

アンケート調査を行った。質問の内容として、マジックテープやボタンは必要か。色や素材は何が良いか。どんな機能が必要か。費用の上限は何円までか。の4つを老人ホームの職員の方に電話またはFAXを送り調査した。

○仮説

羽織る形の服ではないと着ることができない方がいらっしやると思うのでマジックテープやボタンは必須だと考えた。また、ボタンよりマジックテープのほうが楽に付けることができるため、時間もかからなくてよいと思い、色は汚れが目立ちやすい白ではないだろうと考え、素材は普段僕達が着ていても楽に感じるようなものだろうと考えた。また、我々が今使っている体操服よりも薄く作るべきだと考えた。

○研究結果

・マジックテープやボタンはあったほうがいいのか。

ボタンは大きめで少なめ、スナップボタンがよい、マジックテープは不可

・色や素材は何がいいか。

落ち着いた色、ごわごわしない生地、チクチクしない生地、汚れが落ちやすい生地、綿

・職員としてどんな機能がほしいか。

通気性、伸縮性、吸水性、保湿性、乾きやすい、手首、足首の締め付けが強くないもの

・何円までなら買っていたらいいか。

上下別 2000~3000円、つなぎなら 5000~6000円

○デザイン案

- ・ボタンで止める
- ・半袖、半ズボン、長袖、長ズボンの四種類
- ・素材は綿、伸縮性のあるもの
- ・名札つける
- ・手首足首のゴムはなし
- ・色は落ち着いたもの、個人差あり
- ・長袖はボタン多め、半袖はボタン少なめ
- ・なるべく安価

○結論

考えてみた結果、すべての機能を搭載することは安い値段で買ってもらうためには厳しいと感じました。ボタンをつけるのは大丈夫だと思いますが、生地をめんで伸縮性、通気性、吸水性、保湿性などの機能を持つものを作るとすると必然的に良質で高価な生地になってしまうと思います。また、体操服と介護のための服とでは用途が異なり、例えばここに書いてあるように体操服は動きやすい服であることが主な役割なので袖がじゃまにならないよう手首足首が閉まっている、体操服は着脱のしやすさに重きをおいていない、体操服は汗をあまり吸わないようになっているが、介護のための服は汗をよく吸い肌に優しいことが求められるなどです。高齢者の方に向けた体操服というより高齢者の方に優しい服という感じで、体操服とはかけ離れたものになりそうな気がしました。よって最終的な結論としては老人の方に体操服を買ってもらうことができるようになれば少子高齢化への対応はできるかもしれないが、現実的に実行するのは難しいのではないかと考えました。

需要のある服を作ろう ～ターゲット層を高年齢者中心へ～

5-F

1. テーマ設定の理由

まず私達は需要の一番高い年齢層をターゲットに商品を作ろうと考えました。これからどんどん少子高齢社会になっていく上で、高齢者の商品の需要が高まって行くと思定しました。そこで、高齢者の希望に沿うような服を制作することでギャレックス社の利益の向上を図ろうと思いました。さらに従来の製品も参考にし、高齢者にあった原材料や使用感にもこだわった服を作りたいと思いました。

2. 研究方法

高齢者の希望に沿うことを第一に考えようと思っているので、アンケートをすることで高齢者が服を買うときに、何に重きを置いているのかや従来の製品に足りない部分などを見つけました。

アンケートは武生高校のグーグルクラスルームにアンケートをして3年生全員にアンケートをとりました。アンケートの内容は日頃着やすいと感じる服の特徴。運動服に求める機能

3. 研究結果

高齢者は日頃着やすい服の特徴とは アンケート結果は

- 1: 動きやすい 53%
- 2: 軽い 26%
- 3: 柔らかい 14%
- 4: 薄い 7% となりました。

運動服に求める機能は

- 動きやすさ 64%
- 通気性 16%
- デザイン 9%
- 肌触り 2% となりました。

4. 考察

高齢者の方々は着心地がいい服も求める機能も動きやすいということがわかりました。そしてパジャマのようなものが高齢者の求めている服ということがわかりました。

5. 今後

今後は今までどうり体操服を販売し続けて、これからは高齢者に向けて販売をしていくことを提案します。

「妊婦の需要を最大限に活かしたマタニティウェアとは」

6-E 班

1. はじめに

福井県越前市に拠点を置き、スクールスポーツウェア、カジュアルスポーツウェアの製造・販売を手がけるギャレックス。国内の学校の体操服においてシェア率第2位を誇り、2017年に大ヒットを記録した『チアダン』『あさひなぐ』の撮影の際にも衣装を提供するなど、全国的にも知名度を上げている。そんなギャレックスが今後さらなる事業を展開し、より一層躍進し続けていくためには、新たな視点から商品開発を進めていくことが求められると考えた。そこで、どの層に焦点を当てた商品にするか、ターゲット層を決めて、新しい商品を考えていくことにした。

2. 立案過程

今回新しく考えていく商品を、どの層に向けたものにするか話し合いを重ねたところ、高齢者向けの脱ぎ着しやすい服や、中高年に向けた運動着などの案が出た。しかし、商品開発の参考にする上で様々な企業のオンラインショップを閲覧していると、そのような商品はどのメーカーでも出しており、競争を勝ち抜くことは至難であるという印象を受けた。そんな中、販売する企業も商品の種類も少ないのが、妊婦用衣服であるマタニティウェアであった。そこで私達は、スポーツウェアに定評のあるギャレックスの技術を活かすことができれば、妊婦の需要に存分に応えた商品をつくることができる。そして、他に販売している企業が少ないマタニティウェアに焦点を当てることで市場競争を勝ち抜き、より一層売上の向上が見込めるのではないかと考えた。

3. 仮説

一定の期間しか着られないというイメージのマタニティ用品だが、妊婦の多くは産後も使用し続けられるような商品を望んでいるのではないかと。また服の素材についても、多くの人が通気性や速乾性などの機能に加え、肌触りや妊娠期に合ったサイズの調整機能(伸縮性)を求めているのではないかと。

4. 検証方法

需要を知る方法として、ネットの情報だけでなく実際の妊婦の方の声をきくため、アンケートを作成し、産婦人科の受付に設置する。来院された方に回答の協力をお願いし、それぞれの質問に答えてもらう。

5. 妊婦の求める理想形

- ・質問は全5問(I)～(V)で①～⑤の選択式。
- ・最後の質問(V)は、その他・意見がある人のみの回答。
- ・複数回答可。
- ・内容は以下の通り。

(Ⅰ)最重要視する機能は？

選択肢:①通気性 ②速乾性 ③伸縮性 ④吸湿性 ⑤その他

結果 :③伸縮性(48人) ①通気性(17人) ⑤その他(3人)
②速乾性(2人) ④吸湿性(0人)

※その他として「着心地」「肌触り」「産後も着続けられるか」が挙げられた
→伸縮性を最重要視する人が全体の過半数を占めている

(Ⅱ)デザインは？

選択肢:①無地 ②ボーダー ③ドット ④ワンポイント ⑤その他

結果 :①無地(46人) ④ワンポイント(13人) ②ボーダー(3人)
③ドット(0人) ⑤その他(0人)

→無地やワンポイントのデザインなど、シンプルなもの好まれる。

(Ⅲ)価格帯は？

選択肢:①3,000円未満 ②3,000～4,000円 ③4,000円～5,000円
④5,000円～10,000円 ⑤10,000円以上

結果 :①3,000円未満(38人) ②3,000～4,000円(20人)
③4,000～5,000円(2人) ④5,000～10,000円(0人)
⑤10,000円以上(0人)

→安ければ安いほど票が集まり、MAXは5,000円。

(Ⅳ)妊娠期間中にしている運動は？

選択肢:①特に何もしていない ②ヨガ ③ジム ④ストレッチ ⑤その他

結果 :①特に何もしていない(45人) ④ストレッチ(10人) ②ヨガ(4人)
⑤その他(3人) ③ジム(0人)

※その他として「ウォーキング」「散歩」が挙げられた。

→普段から身体を動かしていない人が大多数であった。

このことから、運動時だけでなく普段着として着れるものにする事で需要が
より高まる事が期待できる。

(V)その他・意見等

・抱っこした時、赤ちゃんにボタンが当たって痛くならないよう、ボタンが表に出ていない商品を探しているが、なかなかそういった商品を見つけられない。

・縫い目が当たると痒みを感じるので、縫い目が直接身体に触れないようなものが良い

6. 考察

結果から読み取れる通り、機能性に関しては伸縮性・通気性のあるものに過半数の票が集まっている。これは、妊娠期の急激に変化するお腹の大きさに適応できるものが求められているからではないかと考えた。そしてこれらの需要には、スポーツウェアに定評のある、ギャレックスの技術力で応えることができる。例えば、ギャレックスの強みとして以下が挙げられる。(公式サイトから抜粋)



この表からわかる通り、伸縮性は「ストレッチ」、通気性は「吸水吸汗」の機能で解決することが可能である。また、「紫外線ケア」「透け防止」の機能も、マタニティウェアをつくる上で利用できると考えた。さらに、デザインや値段の面で現在販売しているスポーツウェアと比べてみても、ほとんど差は見られず妊婦の需要を叶えることは可能である。

7. 結論

このように、妊婦の需要はギャレックスの技術で一つ一つ解決していくことができる。将来この商品が実現されれば、妊娠期における妊婦のストレス解消はもちろんのこと、ギャレックスの売上向上とともにさらなる躍進に繋がると考えることができる。

8. ギャレックス株式会社様へ

今回、このような機会を設けてくださりありがとうございました。発表の際には常に的確なご指摘を頂き、毎回新たな気づきがありました。そのおかげで、私たちもより正確に研究を進めていけたのだと思います。優秀賞に選んで頂いたおかげで、さらなるプレゼンの機会を頂けることになりました。大変貴重な経験になります。本当にありがとうございました。

ギャレックスの知名度をあげよう！

7-E 班

要旨

私達の班は「ギャレックスの知名度をあげよう」というテーマで研究を行った。現在武生高校はギャレックスという福井の企業の体操服を使用している。企業にお伺い話をさせて頂いた際にギャレックスの知名度が他県では低いという課題があることをお聞きした。そこで課題研究のテーマを「ギャレックスの知名度をあげよう」に設定し解決方法を考えた。その課題解決のため、私達はギャレックスの企業マスコットを作成することが最もギャレックスの PR の方法として最適であると考えた。そして実際にギャレックスの社名に込められた意味をもとに汎用性が高く、幅広いターゲット層に好まれるようなシンプルで可愛いデザインのマスコットキャラクターを作成した。実際公式のラインスタンプでの使用は難しかったが、スタンプのデザイン案を提案した。また、このキャラクターは他にも多くの使い道があると考察した。

1 はじめに

ギャレックスの課題として、フィラやスパルディングと比べ福井県外での自社ブランドの知名度が低く、その知名度は北陸圏に留まっているという課題があるということを知った。その課題の解決のため自社ブランドの知名度を県内のみでなく県外でも上げるための方法を考えることにした。

2 研究方法

ギャレックス企業のマスコットキャラクターを作成する。マスコットキャラクターを作成することは、企業の PR やイメージアップに繋がったり、SNS やオウンドメディアで活用できたり、顧客とのコミュニケーションに活用することが可能になる。多くの有名な企業が、CM やチラシ、SNS などマスコットキャラクターを用いて宣伝を行っているように、この方法を採用することによって顧客は企業をより身近に感じることができ認知度アップに繋がると考えた。

3 研究結果

マスコットキャラクターを作るに当たり、ギャレックスという社名に込められた意味からアイデアを得た。企業名の由来となった Galaxy(銀河)と未知数を表す X をもとに、おへそに企業マークを取り入れ、白を基調としたシンプルなデザインのマスコットキャラクター「ギャレレン」を作成した。このようなデザインにすることでそのときの流行に左右されずまた汎用性が高まるため、大人から子供までの幅広いターゲット層に好まれると思う。

4 考察

今回は作成したマスコットキャラクターのラインスタンプの作成を中心に活動を行ってきたが、その他にもきぐるみの作成やグッズ販売での使用も可能だ。